様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

１ 事業名	勤労者福利厚生事業	コード	31101

２ 担当部課	部等	産業振興部	課等	工業振興課	作成者	増田　亮吾

３ 事業概要				
目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち		
	政　策	勤労者対策の推進	施　策	勤労者福祉の充実
	予算科目	勤労者福祉対策事業費	業務委託	なし（直営）
	実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
	根拠法令	なし		

●事業の内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		勤労者の福祉向上及び生活安定を図るとともに、勤労者福祉推進団体の強化育成を行う。
目的	対象者	市内在住の勤労者、市内で働く勤労者
	意　図	福利厚生面から勤労者を支えること。日常生活の向上に低利な融資の提供。

５ 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

●勤労者生活資金融資	長野県労働金庫諏訪湖支店との協調により、生活資金融資の斡旋を実施 融資利率　変動式または固定式の選択 変動式は、労金商品より0.01%低く設定（介護資金は0.03%低く） 限度額　2,000,000円　償還期間10年以内 28年度中の新規貸付　8件　年度末融資残高　36,650,930円
●勤労者福祉推進団体育成	一般財団法人諏訪湖勤労者福祉サービスセンターへの加入促進ＰＲ。 共催事業（定年準備セミナー）の実施。
前年度の課題への対応	市報などＰＲに取り組み、融資制度の周知及び利用者の促進を図った。

６ 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 活動指標（指標名）	生活資金融資申し込み件数			単位　件
実績値	14	13	8	
＊指標の説明				
② 成果指標（指標名）				単位　件
目標値	50,000,000	50,000,000	14,000,000	10,000,000
実績値	16,370,000	13,870,000	9,420,000	
達成度	32.7%	27.7%	67.3%	
＊指標の説明	生活資金融資の金額			
＊目標値の設定方法の説明	実積値			

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	74,652,000	74,796,000	74,814,000	74,886,000
経常経費	74,652,000	74,796,000	74,814,000	74,886,000
臨時的経費	0	0	0	0
＊臨時的経費の説明				

区　分		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費		800,000	800,000	800,000	800,000
正規職員の人数（人）		0.10	0.10	0.10	0.10
③ 合計コスト（①＋②）		75,452,000	75,596,000	75,614,000	75,686,000
前年度比			100.2%	100.0%	100.1%
財源内訳	一般財源	75,452,000	75,596,000	75,614,000	75,686,000
	特定財源				
＊特定財源の説明					
④ 活動一単位あたりコスト		5,389,429	5,815,077	9,451,750	
前年度比			107.9%	162.5%	
⑤ コストに関する補足説明					

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
諏訪湖勤労者福祉サービスセンター補助金	件数	1	1	1	1
	金額	14,652,000	14,796,000	14,814,000	14,886,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	14,652,000	14,796,000	14,814,000	14,886,000
	割合	19.63%	19.78%	19.80%	19.88%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性　高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性　標準**

評価項目				はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。				1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。				1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。				1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比	67.9%		0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度	67.3%		0

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） 協調融資については、預託金の額に見合った実行までに至っていない。 諏訪湖勤労者福祉サービスセンターの会員の維持、新規会員の獲得
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 協調融資については、さらに利用者拡大に努め、預託金の額に見合った実行となるようＰＲに取り組む。 諏訪湖勤労者福祉サービスセンターでは加入促進員の継続配置により会員確保に取り組む。
改善開始時期	平成２９年４月

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B